

この説明書は、お薬とともに保管し、服用の際には、必ずお読みください。

第2類医薬品

柴胡桂枝湯エキス配合 救心のかぜ薬白箱

「かぜは万病のもと」といわれ、こじらせるといろいろな病気をひき起こすようになります。

ひきはじめのうちに、できるだけ早く治療することが大切ですが、無理をして長びいてしまうことも少なくありません。

救心のかぜ薬白箱は、長びいたり胃腸症状を伴つたりするかぜに古くから用いられてきた漢方処方<柴胡桂枝湯>のエキスに、解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、鎮咳去痰剤などを配合したかぜ薬です。漢方薬と洋薬の特有の作用で、ひきはじめはもちろん、長びいたかぜにも、すぐれた効きめをあらわします。

⚠ 使用上の注意

☒ してはいけないこと

[守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起りやすくなる]

1. 次の人は服用しないこと
 - (1)本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (2)本剤または他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)
3. 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないこと
(眠気等があらわれることがある。)
4. 服用前後は飲酒しないこと
5. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
 - (1)医師または歯科医師の治療を受けている人
 - (2)妊娠または妊娠していると思われる人
 - (3)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (4)次の症状のある人 高熱、排尿困難
 - (5)次の診断を受けた人 心臓病、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難、頻尿、排尿痛、血尿、残尿感
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。

ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらつとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
□のかわき、眠気
4. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

効能

かぜの諸症状(せき、たん、鼻みず、鼻づまり、頭痛、発熱、悪寒、くしゃみ、のどの痛み、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

用法・用量

食後なるべく30分以内に水またはお湯で服用すること

年齢	1回量	服用回数
大人(15才以上)	1包	1日3回
11~14才	2/3包	
7~10才	1/2包	
3~6才	1/3包	
3才未満	服用しないこと	

(1)用法・用量を厳守すること

(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること

成分と作用

救心のかぜ薬白箱は、灰かつ色の顆粒で、3包(1包1.2g)中に次の成分を含んでいます。

成 分	3包中	作 用
柴胡桂枝湯乾燥エキス (サイコ1.0g、ハング0.8g、ケイヒ0.6g、シャクヤク0.6g、オウゴン0.4g、ニンジン0.4g、タイソウ0.4g、カンゾウ0.4g、ショウキョウ0.2g 全量4.8gより抽出した乾燥エキス) (漢方薬)	720mg	漢方医学の原典『傷寒論』に収載され、古くからかぜの治療に用いられてきました。特に、長びいたり、はき気や腹痛などの胃腸症状を伴つたりするかぜの頭痛、発熱、悪寒などに効果を発揮します。
アセトアミノフェン (解熱鎮痛剤)	900mg	熱を下げ、頭痛やのど、関節、筋肉などの痛みをしずめます。
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 (抗ヒスタミン剤)	3.5mg	くしゃみ、鼻みず、鼻づまりなどのアレルギー症状をおさえます。
チペビジンヒベンズ酸塩 (鎮咳去痰剤)	75mg	せきをしのぎ、たんを切ります。
無水カフェイン (カフェイン剤)	60mg	痛みをしのぎます。

添加物として乳糖、サッカリンNa、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルスター、二酸化ケイ素を含有します。

保管および取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること
- (2)小児の手の届かない所に保管すること
- (3)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4)1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること
- (5)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願いいたします。

救心製薬株式会社 お客様相談室

電話:03-5385-3211(代表)

受付時間:9:00~17:00(土、日、祝日、弊社休業日を除く)



救心製薬株式会社

東京都杉並区和田1-21-7